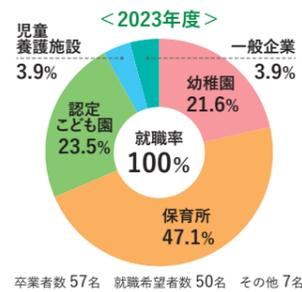
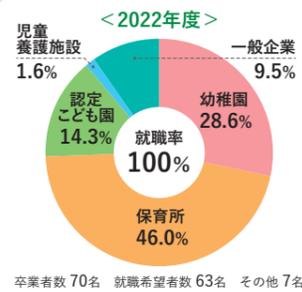


2022年度 就職状況報告



新型コロナウイルスが「五類感染症」に移行し、私たちの生活は行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重する仕組みへと変化していきました。

2022年度の卒業生は、まさしく高校時代からコロナ禍の渦中で、様々な制約を強いられ、そしてその後の転換期を経てきています。就職活動に際しても不安が残る中、先生方や友達同士で情報交換し、確かめ合い、互いに勇気をもたらしながら、自分の進路を追い求めていました。その努力の結果、例年通り、就職を希望するすべての学生が内定を頂き、巣立っていききました。学生一人ひとりの「保育者になりたい」という強い意志の表れであったと感じています。

この短い2年間で、今年度も学生たちは大きな力を蓄え、社会の一員として巣立っていきます。これから現場にいらっしやる先生方を見習って、素敵な保育者に成長してほしいと心から願っています。本学を卒業された先達の皆様、これからも後に続く学生の成長を見守り、その歩みを導いていただきたくお願い申し上げます。

キャリア支援室 室長 佐久間 博子

お悔やみ

白峰会理事長 中川緑先生が2024年1月13日にご逝去されました。大学では総務部長、理事も歴任され、長年にわたり大学にご尽力いただきました。心よりご冥福をお祈りいたします。

はなわ

第54号

2024年3月25日
横浜市港南区港南台4-4-5
045 (835) 8119 (直通)
045 (833) 7100 (大学)
横浜女子短期大学
小百合同窓会
会長 大河原 翠
善友印刷所

果敢と行動

小百合同窓会 会長

S 43年卒 大河原 翠

横浜女子短期大学小百合同窓会の皆様におかれましては、日頃より本会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症や度重なる自然災害など、いまだに厳しい状況におられる皆様には心よりお見舞い申し上げます。

横浜女子短期大学の一期生（昭和41年）として入学、卒業後短大の教職員として定年退職まで、40年間、そして同窓会役員として55年携わり現在もその役割は継続しています。

私にとって横浜女子短期大学は「青春」そして「人生」そのものと言っても過言ではありません。小百合同窓会の会員も今では12,000人余を越え多くの方々が幼児教育の現場等で働いています。

横浜女子短期大学は現在、建学の精神「愛と奉仕」を精神の礎として社会に貢献する人材を育成するという伝統を継続しつつ、積極的に学生主体の教育を推進しながら充実した学びの場として「横浜女子短期

大学の歴史」を刻んで来ています。

しかし、現在のこの時代、少子化に拍車をかけ「職業意識の変化」や「女性の社会進出」、「4年制志向」・「共学志向」も高まり短大入学希望者が全国的に減少、わが母校もその波に押され、今年度入学者定員を200名から150名に変更したにもかかわらず、受験者数は激減し低迷している現状です。地元に必要な人材を育成する役割は今でも短期大学にあります。

現代の学生に選ばれるためには、従来の強みを維持しながら、どのように生き残りを図るかが直近の最大の課題です。危機には「果敢」としてみずから「行動」する勇氣をもって更に横浜女子短期大学の歴史を紡いでいくことを同窓生として念願し、大いに期待しています。

同窓会会員の皆様におかれましては、健康で楽しい日々を今後もおくれますことを願うとともに、ますますのご活躍を期待しております。

2024年度の総会は実施いたしません。以降、同窓会のお知らせはホームページをご覧ください。

「平野 恒」奨学金・小百合同窓会について

「平野 恒」奨学金・小百合同窓会への寄付金に引き続きご協力をお願いいたします。

- ◆「平野 恒」奨学金 00230-2-84642
学校法人白峰学園横浜女子短期大学
- ◆小百合同窓会 寄付金 00260-0-53293
白峰学園 小百合同窓会

2022年度 寄付金の報告

奨学金のために：35件 468,000円
同窓会のために：25件 311,000円

小百合同窓会、大学の「平野恒奨学金」のために同窓生の方からもご寄付をいただき誠にありがとうございました。2022年度は、平野恒奨学金を1学年2名、2学年5名に給付という形で支援をすることができました。感謝をもってここにご報告いたします。

悲しいお知らせ

| | |
|--------|-------------|
| S 20年卒 | 津田 幸子(菊地)様 |
| S 25年卒 | 井田喜美子(平野)様 |
| S 26年卒 | 伊倉 久江(荒瀬)様 |
| S 27年卒 | 市川マサ子(眞理谷)様 |
| S 29年卒 | 林 晴美(鳥谷)様 |
| S 31年卒 | 栗田 静江(中島)様 |
| S 37年卒 | 天川よしみ(齋藤)様 |
| S 37年卒 | 日暮 陽子(武尾)様 |
| S 41年卒 | 望月さと子(渡辺)様 |
| S 42年卒 | 中台 京子(早川)様 |
| S 45年卒 | 草薙壽美枝(有田)様 |
| S 45年卒 | 岡本 康代(中嶋)様 |
| S 45年卒 | 後藤 寿子(藤原)様 |
| S 51年卒 | 湯浅恵美子(角岡)様 |
| H 2年卒 | 近藤 典子(亀山)様 |

*ご家族皆様の平安と、ご冥福をお祈りいたします。

総会報告

S15年卒 萩原 由美子
2023年6月24日(土)、コロナが第5類に移行しましたが、感染症対策をした上で、横浜女子短期大学講堂にて、小百合同窓会総会を開催いたしました。

2022年度事業報告並びに収支決算、2023年度役員・事業計画・収支予算は原案通り承認されました。

第2部は、本学客員教授の横森弘之先生ご一家による「ファミリーコンサート」を行いました。披露される曲の解説や楽器について分かりやすくお話しいただき、より親しみ深く鑑賞することができました。「ファミリー」ならではの和やかな雰囲気の中、心温まるひとときとなりました。



事務局から

- ★同窓会の情報は大学のホームページにも載っていますので、お時間のあるときにご覧ください。
- ★結婚式に祝電をお送りいたします。同窓会または大学まで日時等お知らせください。
- ★保育科進学を希望するご姉妹、ご親戚がおられましたら、4親等以内の同窓生の推薦で受験でき入学金も免除される「同窓生ファミリー入試」を是非お勧めください。

編集後記

昨年の夏は連日の猛暑、世界中でおきた地震や洪水、気候に翻弄された一年でした。又、喜怒哀楽の多い年だったようにも思います。「怒」物価高騰、政治家の裏金工作 etc の政治不信
「哀」ロシア対ウクライナ・イスラエル対パレスチナの紛争
「怒・哀」どちらも気持ちの持って行き場のない出来事です。
「喜・楽」スポーツ、将棋界等、若者が活躍！溜飲が下がる嬉しさでした。
今年も成長する年と言われていますが、正月早々の能登半島地震・飛行機衝突事故と大きな天災・人災がおきました。一年の厄が正月に集約され、これからは運氣が上がることを祈ります。今年はおリンピックイヤー!!世界が一つになって笑顔が溢れる、そんな一年になりますように!
S 42年 小峰 照江

学園祭開催



H 11年卒 金原 智津子
10月29日(日)、横浜女子短期大学初めての学園祭が開催されました。
同窓会も参加し、大学の歴史の展示や、子どもが自由に遊べるフリースペース、子育て相談、総会の時に行っていたバザー、工作コーナーは有料・無料合わせて4種類と出し物は盛りだくさん!
地域の方達や、同窓生も大勢来てくださり、関わる人が皆、笑顔の素敵な1日になりました。

2022年度 白峰学園小百合同窓会収支決算書

(単位：円)

| 収入の部 | | | | |
|--------|-----------|-----------|----------|---|
| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 | 附記 |
| 会費収入 | 1,420,000 | 1,325,000 | 95,000 | @10,000×62名(1年) @10,000×68名(2年) @ 5,000× 5名 |
| 負担金収入 | 0 | 50,000 | △50,000 | 短大より 30,000 協力会より 20,000 |
| 寄付金収入 | 200,000 | 391,000 | △191,000 | 理事長他 4件 80,000 同窓会のために 25件311,000 |
| 繰入金収入 | 1,000,000 | 1,300,000 | △300,000 | ※特別会計 ゆうちょ銀行より一部繰入 |
| 雑収入 | 1,000 | 7 | 993 | 預金利息 |
| 前年度繰越金 | 340,000 | 339,564 | 436 | |
| 収入合計 | 2,961,000 | 3,405,571 | △444,571 | |

(単位：円)

| 支出の部 | | | | |
|--------|-----------|-----------|----------|--|
| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 | 附記 |
| 事業費 | 2,135,000 | 2,140,404 | △5,404 | |
| ・会報発行費 | 1,100,000 | 963,447 | 136,553 | 会報印刷代(53号) 161,755 会報案内送料 666,036 封筒・会報折込封入等 135,656 |
| ・行事費 | 1,000,000 | 1,176,957 | △176,957 | 総会諸経費 162,840 総会案内送料 747,768 封筒・案内折込封入他 266,349 |
| ・研修費 | 35,000 | 0 | 35,000 | |
| 会議費 | 50,000 | 37,323 | 12,677 | 役員会・編集委員会等諸経費 |
| 人件費 | 250,000 | 290,990 | △40,990 | 事務局アルバイト代 |
| 旅費 | 30,000 | 40,820 | △10,820 | 役員・編集委員等交通費 |
| 慶弔費 | 120,000 | 123,750 | △3,750 | 卒業生記念品(保温・保冷水筒) |
| 通信費 | 70,000 | 61,435 | 8,565 | 電話代等 |
| 備品費 | 25,000 | 0 | 25,000 | |
| 消耗品費 | 14,000 | 14,070 | △70 | 事務用品代等 |
| 事務局費 | 60,000 | 60,000 | 0 | 事務局使用料 |
| 雑費 | 5,000 | 7,386 | △2,386 | 振込手数料・口座徴収、通知料金 |
| 積立金 | 200,000 | 391,000 | △191,000 | 特別会計へ繰越(寄付金より) |
| 予備費 | 2,000 | 0 | 2,000 | |
| 小計 | 2,961,000 | 3,167,178 | △206,178 | |
| 次年度繰越金 | 0 | 238,393 | △238,393 | |
| 支出合計 | 2,961,000 | 3,405,571 | △444,571 | |

| 預金・現金保有状況 | 《一般会計》 | |
|-----------|----------------------------|-----------------------------|
| | 次年度繰越金 | 238,393円 |
| 1) 普通預金 | 6円 (三井住友銀行港南台支店) | |
| 2) 普通預金 | 217,864円 (三菱UFJ銀行港南台支店) | |
| 3) 現金 | 20,523円 | |
| 《特別会計》 | 次年度繰越金 | 6,281,420円 |
| | 1) 定期預金 | 4,000,000円 (三菱UFJ信託銀行本店営業部) |
| 2) 普通預金 | 365,748円 () | |
| 3) 当座預金 | 1,915,672円 (ゆうちょ銀行港南台駅前支店) | |
| 総額 | 6,519,813円 | |

次年度以降の決算書等はホームページをご覧ください。

同窓会に呼ばれて〜2022年度の同窓会総会に出席して〜

光陰矢の如し、月日の経つのは早いものです。卒業してから半世紀が過ぎてしまったとは信じがたい。昨今、同窓会総会の手紙が届き、私達「平塚三人組」は早速連絡を取り合い出席することになりました。同じ地域に住みながら、減りに会うことはありませんでした。

久々に出席した私達でしたが、同期は6名、少し寂しい思いがしました。その昔、平野恒先生は講義の中で「読めない字は読みません。きれいな字で提出されただけでも点数を差上げます。」とおっしゃったことは強く印象に残っています。また、上野先生の授業はいつ指されるかドキドキでしたし、清水先生の造形遊びは楽しく早く現場で実践したかった、と、次々学生時代の記憶が蘇ってきました。

総会終了後、同期6人であれこれ談笑し、同期で集まろうと約束して別れました。後日、鎌倉で食事をし、近況報告や学生時代の事柄を楽しく話し合いました。



2022年11月16日 山田亭にて

S 43年卒 関口 忍

保育賞受賞

相模原市 認定こども園すこやか

S 50年卒 井上 祐子(佐藤)



この度は栄誉ある保育賞の受賞に当たり、保育士を目指していた学生時代に抱いていたワクワクするような、新鮮な気持ちを感じ出す事が出来ました。

「初心に戻る」簡単なようで、でもなかなか難しい事ですが、日々保育に携わる中で様々なことが走馬灯のように頭の中を駆け巡りました。

「きっかけ」という題目を考えた時に最初に思い出したのが、当白峰会の高風こども園でアルバイトをした事でした。今では懐かしく良い思い出として胸に残っています。

受賞の際には急逝された理事長の中川緑先生から温かいお言葉を頂き、今までより、尚一層子ども達や、保護者にとって安心してもらえる存在でありたいと強く思いました。

川崎市 新日本保育園

S 63年卒 神藤 真実(寺尾)



令和5年度「神奈川県保育のつどい」におきまして、栄誉ある保育賞をいただき、心から感謝しています。

恩師の勧めで横浜女子短期大学に入学し、厳しくも温かいご指導があったから、卒業して新日本学園に就職し、30年

以上、保育の道を歩んでくることが出来ました。

長い保育生活、様々なことがありました。一つ一つが自分の学びと成長につながっていると感じています。

これからも、保育園に求められている様々なことをしっかりと受け入れて、一人ひとりの子ども達の発達支援を大切に、自己研鑽を重ねながら保育の資質向上に努めていきたいと思っております。

横須賀市 太田和こども園

H 5年卒 岩崎 佳子(長谷川)



私が横浜女子短大に入学する前、「保育の仕事が向いている」と、この道を薦めてくれたのは

亡き母でした。子どもはかわいからしいかなと、少し安易な気持ちで決めたので、保育の世界がこんなにも奥深く、難しく、素晴らしいと感じると思いませんでした。未来ある子どもたちを身近にみて、一緒に成長を喜んだり、そんな園児が立派に親となり、子どもを連れて園に戻ってきたりと、嬉しい事も経験できました。そして私自身が子育てや介護をしながらも、長くこの仕事に携われたのは、職場の理解と、家族の支え、そしてこども達の笑顔があったからだと思います。本当に保育の世界は学びが深く、「おさなごにまなご」の言葉通りだと感じています。この道へ導いてくれた母に感謝し、この栄誉ある、また歴史ある「保育賞」をいただいたことに、心から感謝いたします。

高風子供園・高風保育園全面改装

小百合同窓会 名誉会長

S 28年卒 船田 松代

昭和23年1月、戦災にあった母子と街に彷徨う浮浪児、引揚孤児の保護育成のため、養護施設「高風子供園」がスタートしました。それ以来、脈々と歴史を積み重ね今日を迎えました。

今回、高風保育園と高風子供園が分離され、時代に相応しい建物が完成しました。今も昔も変わらずに、大勢の方々のご協力があったからこそ新しいスタートです。天にいらっしやる創立者 平野恒先生も



高風子供園

高風保育園

保育園紹介

特定非営利活動法人 キッズポケット

S 46年卒 津川(漆原) ハル子



横浜女子短期大学を卒業して6年間幼稚園に勤めました。結婚のため奈良県大和高田市に引っ越し。初めての無認可保育園勤務として。

が、楽しくやりがいのある仕事でした。しかし、保育の仕事をやりたいと思い、1994年株式会社「明日香」を起業し、ベビーシッターの派遣や保育士・幼稚園の先生の派遣を始めました。1998年には無認可保育園も始め、株式会社「明日香」は20年続けました。

その後、2010年 特定非営利活動法人「キッズポケット」を立ち上げ、キッズポケット保育園(横浜市西区岡野)、キッズポケット木の葉保育園(横浜市西区浅間町)、キッズポケット豊洲保育園(江東区豊洲)の運営を始めました。

「何よりも子どもの笑顔を大切にしたい。それが私たちの原点です。」を基本理念として、保育士も子どもたちも、考えて行動できることを目指しています。子どもたちも笑顔で、保護者も笑顔で、保育士も笑顔で(残業なし)、法人も笑顔で安定すればよいかなと思えます。



「縁があって、横短S55年卒の齋藤眞理子(山本)が25年ぶりに保育士に復帰しました。彼女からの言葉です。」「2019年春からキッズポケット木の葉保育園で働いています。初めは園児・保護者の名前を覚えるのが大変でしたが、少しずつ馴れてきて、今、園児との関わりを大切にして楽しく、笑顔で、保育しています。」

神様の大きな恵みに感謝していらっしやることと思います。

話は変わりますが、平野建次先生のお別れ会の時、雑沓のロビーで「八木先生(旧姓)! 僕のこと覚えていますか?」と男性から声を掛けられました。「子供園の卒園生に会えるかな」と思い参列したそうです。私が子供園でアルバイトをしている時の園生でした。

その時、彼は14歳、現在81歳、建設会社の社長をされているそうです。その日の夜、電話で懐かしい話をしました。人と人との絆に感動しました。

能登半島地震で被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。